



鳥取環境大学の学生有志に教えていただきます。興味を持っていただけたことが嬉しく思います。

しいですし、励みになります。昨年の因幡の傘踊りの祭典では、学生のみなさんが素晴らしい踊りを披露してくれました。これからも継続して教えて、学生に根付いたらいいなと思います。

市長 因幡の傘踊りはいつ見ても力強く、華麗で、かつ哀感が感じられる素晴らしい舞で、以前からとても好きな伝統芸能です。国内外で踊りを披露したり、小中学生や大学生に教えたりするなど、魅力を感じていただくことにより、継承していただくという活動が素晴らしいと思います。

熊田 私が貝がら節を踊り始めたのは3歳頃だったと母親から聞いています。小中学生の頃は毎年貝がら節祭りでも踊っていました。大人になってからは、貝がら節保存会に所属し、正調貝がら節踊

りを練習して県内外でPRしています。今は浜村小学校で貝がら節踊りを指導していて、今年で8年目です。1年生から3年生までは新貝がら節踊りを、4年生から6年生までは正調貝がら節踊りを練習し、毎年運動会で披露しています。他には、しょうがぼかぼかフェスタで小学生がパレードをしながら踊るといいう取り組みも行っています。指導している子どもたちが本番で踊っている姿を見ると涙が出るほど嬉しいですね。

私自身は、8月に行われる貝がら節祭りで、踊りが始まるスタートのかけ声をかけたり、誰でも自由に参加できる勝手連という連で率先して踊って観光客と一緒に踊りを楽しんだりしています。

市長 子どもたちがさまざまな場面で踊りを披露していて、次世代につながるとても素晴らしい取り組みだと思います。私も貝がら節祭りに毎年出席し、各連のみな



たちが傘踊りに取り組んでいきます。コロナ前は私も小学校での指導に参加していました。昨年から県外出身の大学生に教える機会ができたので、地元の人以外にも魅力を伝えていけるように活動していきたいです。

武田 令和元年、久松小学校に麒麟獅子クラブができて、保存会のベテランの人が指導に伺っています。麒麟獅子舞フェスタには保存会がトップバッターでその次に麒麟獅子クラブが出演し、一緒に参加しました。他にも、公民館まつりや鳥取三十二万石お城まつりなどのイベントに積極的に参加しています。

将来的には、卒業生が保存会に入っ一緒に活動できたらいいなと思います。

熊田 今は、子どもたちが貝がら節踊りを披露する一番大きなイベントが運動会なので、今後はたくさんいろいろなところで披露できるように働きかけたいです。

市長 みなさんが取り組んでおられることは、次の世代である子どもたちに伝統芸能や伝統文化に魅力を感じてもらい、体験をして、大人になってさらに次の世代に

引き継ぐことにつながる、素晴らしいことだと思います。

坂本 西郷小学校では、給食で使われるプラスチック食器の代わりに、地元の作家が作った器でご飯を食べてもらおうと、毎年1年生が地元の窯元の協力を得て、器に絵付けをしたり、釉掛けをしたりする茶碗作りを行っています。この取り組みを通して、子どもたちに物を大事に扱ってもらおうこととの大切さや、物作り、地元の工芸に関心を持ってもらえたら嬉しいですね。

以前、中井窯に来てくださったお客さんが卒業してからも毎日家で器を使っていますと教えてくださり、とても嬉しい気持ちになりました。

市長 地元の作家さんたちが制作されたお茶碗で給食をいただく。これ以上のぜいたくはないです。子どもたちにとても貴重な体験になると思います。



さんの素晴らしい踊りをいつも拝見しています。本市が誇れる民謡ですので、多くのみなさんに継承していただきたいです。

坂本 因州・中井窯は昭和20年に曾祖父が今の中井窯の場所に登り窯を築いたことが始まりです。黒、白、青の3色の掛け分け皿は、中井窯を代表する作品の一つです。

自分の身の回りにはいつも中井窯の器があつて、小さな頃から祖父や父の姿を見てきてかっこいいと思っていましたし、誇りに思っていたので、自然とこの道に進むことを決めました。高校卒業後、4年間ろくろと釉薬を学ぶ学校に通い、その後1年間窯元で修行しました。今は中井窯を継いで8年目です。

作品は地元の道の駅や工芸店、高砂屋、自宅のギャラリー、そして、毎年秋に地元で行われる西郷工芸祭りでも販売しています。工芸祭りは昨年で10回目という節目を迎え、多くの人たちにお越しいただき大盛況でした。直接お客さんと会話して、手に取って見ていただけることはこれからの作品作りの励みになります。

今年の目標・抱負

武田 昨年から獅子頭に入っ、舞を舞っています。これまでは私より年上の人がずっととされていましたが、任せっきりというわけにいかないことを痛感しました。少しずつ先輩方に教えていただきながら、獅子頭として保存会の力になりたいです。

熊田 今年はよりたくさんの人に貝がら節を知っていただくことと、このままずっと継承につながる活動を続けて、貝がら節が好きになる子どもたちを増やしていきたいです。

坂本 自分も小さな頃から家の仕事を今に至っているのですが、みなさんも小さい頃からの経験や体験が今につながっていると知り、とても親しみを感じました。

今後の目標としては中井窯の伝統は守りつつ、中井窯の特色を生かした新しいことにも挑戦していきたいらと思っています。

福田 今日は、なかなか聞く機会のないみなさんの話を聞くことができ、楽しい時間を過ごさせてもらいました。昨年は大阪・関西万博という大



市長 私の中井窯の作品を長年愛用しています。西郷工芸祭りでは素晴らしい作品が展示即売されていて、何よりも素晴らしいのは作家のみなさんと直接話ができることです。昨年は坂本さんとも会場でお会いし、私も楽しい時間を過ごさせていただきました。

伝統を未来に紡ぐために

福田 宮ノ下小学校と国府東小学校で、クラブ活動として、子ども

きな舞台上で傘踊りを披露する機会がありましたので、今年も、大きな舞台に呼んでいただけるように練習に励み、こんな踊りを自分もしてみたいと子どもたちが思えるような活動をしていきたいです。

市長 地域で大切に守られてきた伝統芸能や伝統産業を次の世代に引き継いでいくことが、自分たちの町や地域に誇りを持つということにつながっていくと思います。みなさんの活動が、伝統芸能・伝統産業を将来に向けてさらに力強く前進させていく契機になると思います。

※座談会の内容は要約しています



司会 田中奏子さん

座談会の模様は、いなびりびよんネット(12ch)で放送します。
日時：1月1日(木・祝)、2日(金)、3日(土)
15:00~、18:00~、21:00~
6:00~、9:00~、12:00~